

## パソコンの起動が遅い、反応が遅いを解消する方法について

広報部 玉上佳彦

最近、長年使っていた Windows パソコンの動作が遅いという声をよく聞くようになりました。この件について、以下に解消する方法をお知らせします。

### 1. パソコンの動作が遅い原因

パソコンを使っていると、不要な過去のデータや、ネット閲覧の履歴などが溜まってしまい、記録するハードディスクが断片化しているため遅くなると考えられます。

### 2. ディスククーンアップを実行する

Windows 管理ツールから〔ディスククリーンアップ〕を開き、インターネット一時ファイルやゴミ箱などのファイルを選択してクリーンアップして削除します。

### 3. デフラグと最適化を実行する

同じく Windows 管理ツールから〔ドライブのデフラグと最適化〕を開き、【最適化】をクリックします。この作業にはかなり時間がかかります。

デフラグとは、HDD に散らばっているデータ保管場所を整理するという意味です。例えば、部屋に散乱している本や書類などを整理して、本棚やファイルボックスにきれいに並べることです。

### 4. HDD と SSD の違いについて

これまでのパソコンは、記憶媒体として「HDD（ハードディスクドライブ）」を搭載しているものが主流でした。しかし2、3年前から発売されているノートパソコンのほとんどは HDD に代わって、「SSD（ソリッドステートドライブ）」搭載のパソコンが主流となっています。これは、SSD が安くなってきたことと、前述の動作が遅いという欠点を解消するためです。

5. HDD は、データを記録するプラッタという円盤が高速で回転し、磁気ヘッドで書き込み、読み出しをする仕組みです。SSD に比べて保存容量は大きいですが、読み書きがたいへん遅く、衝撃に弱く、消費電力が大きいというデメリットがあります。

6. SSD は半導体素子メモリーを使った記憶装置です。SSD は回転していないので、衝撃に強く、消費電力が少なく、読み書きの速度が非常に速く、作業音がなく、サイズが小さいというメリットがあります。

7. これまでのパソコンの動作が遅く、イライラされている方には、最近安くなってきている SSD 搭載パソコンに買い換えることをお勧めします。見違えるほどの速さが実感できます。2、3年前までは高価でしたが、最近の SSD 搭載パソコンは、10 万円前後で購入できるようになっていますので、販売店などでご相談下さい。

8. ところざわ倶楽部のパソコン相談会でも、対応させていただきます。一般的に、パソコンの寿命は使用環境にもよりますが、賞味期限は 5、6 年といわれています。買い替えに躊躇されていると、新しい情報社会から取り残されていく可能性がありますので、ご注意下さい。